



No11 知ってほしいな「特別支援教育」のこと！（その2） — 「特別な支援を必要とする」って ということ？ —

子どもたちが、「特別な支援を必要とする」のは、次のような特徴があるために、学習や生活上で不利益を生じてしまっている時です。「さぼっている」のでも「努力が足りない」のでもありません。「何をやっても何だかうまくいかない。」と困っているのは、他ならぬ子ども自身なのです。

- ・集中して話を聞くことや、一つのことを最後までやり遂げることが難しい。
- ・気になることがあると、ぱっと出歩いてしまう。
- ・極端に苦手な学習がある（聞く、話す、読み取り、漢字、作文、計算、なわとび、ボール）
- ・少しのことで怒ったり、パニックを起こしたりしがちである。
- ・整理整頓が苦手で、忘れ物やなくし物が多い。



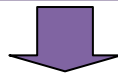
ぼくは、何をやってもダメなんだ。ぼくなんかいない方がいいんだ。



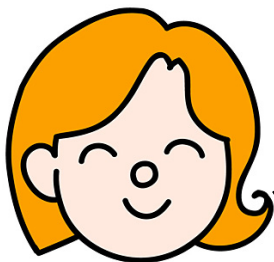
自信をなくして、自己肯定感が低くなっており、何事にも意欲的に取り組めない状態。

特別支援教育とは、

「特別な支援を必要とする児童生徒」の教育的ニーズを把握して、適切な教育的支援を行うこと。



児童生徒が、一人ひとりにとって必要な支援を、適切な時間、適切な場所で受けることができる制度。



子どもたちはいつも「もっとわかるようになりたい。」「もっとできるようになりたい。」という願いをもっています。はじめから「できなくてもいい。」と思っている子はいないのです。

そんな時、子どもたちが誰かの手助けを受けながら「やった！」「できた！」という満足感や達成感を得ることは、当然のことであり、特別なことではありません。本市では、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、適切な支援が行える環境づくりに努めています。